

大阪社会保障推進協議会との協議等議事録（要旨）

旭区役所 企画課

1 日 時 令和7年3月4日（火）午前10時～12時

2 場 所 旭区役所 3階 第2・第3会議室

3 団 体 名 大阪社会保障推進協議会

4 協議等の趣旨 2024年度大阪市24区キャラバン行動要望書についての協議

5 出 席 者

（団体側）

代表者 外1人

（本市）

旭区役所 課長6人、課長代理9人

6 議事

（1）介護保険について（項目番号1）

団体要望概要

- ① 介護保険料の滞納処分についてはどこが担当し、どういう段取りで行っているのか。
- ② 介護保険料の旭区の減免者数を教えてほしい。
- ③ 介護認定の申請を受けてから、調査して審査会までどのくらいの日数がかかっているか。
- ④ 介護認定の申請から決定まで、どのくらいの日数がかかっているか。
- ⑤ 介護保険料は前年度の収入で決まるため、定年退職後に払うのが厳しい。大阪市独自で、国民健康保険と同じような減免制度にしてほしい。
- ⑥ 老人憩の家について教えてほしい。
- ⑦ 軽度難聴者への補聴器購入補助制度について、大阪市の制度は他市町村と比べて制限が多いうえに補助金額が少ない。

本市説明概要

- ① 福祉局が行っている。
- ② 令和7年2月末現在、旭区内での所得減少減免は51件、生活困窮者減免は170件程度となっている。

- ③ 早くても2週間程度かかっている。
- ④ 実態として30日以上かかっている場合が多い。
- ⑤ 要望については、福祉局に伝える。
- ⑥ 老人憩の家は令和2年3月末に廃止され、地域集会所として一本化し、地域で運営をいただいている。
- ⑦ 要望については、福祉局に伝える。

(2) 国民健康保険について（項目番号3）

団体要望概要

- ① 国民健康保険料が大阪府で統一化されたが、収納率や、窓口での相談内容など、現場の状況を教えてほしい。
- ② 大阪市の中で旭区は滞納処分の件数が少ないようだが、区によって傾向があるのか。
- ③ 短期保険証の最新の件数を教えてほしい。

本市説明概要

- ① 令和6年度の収納率は令和7年1月現在で69.86%。令和5年度同月の収納率が70.17%だったので、収納率は下がっている。統一化により、世帯の収入を丁寧に確認するようになったため、保険料が高く払えないという方もいるが、相談件数は例年通りという印象。
- ② 確かに旭区は他の区に比べて滞納処分の件数が少ないため、福祉局からの細やかな指導により業務を行っている。
- ③ 令和6年12月2日以降、健康保険証廃止に伴い短期保険証も廃止になったため件数は把握できていない。

(3) 健康診断について（項目番号4）

団体要望概要

- ① 大阪全体の医療費の3分の1が大阪市であるにも関わらず、特定健診やがん検診の受診率が43市町村の中で一番低い。健診の内容を充実させ、無料にするなどしないと受診率は上がらないと思う。
- ② 受診率向上のために、区で行っている取組はあるか。
- ③ 生活保護受給者は健診を受けるために申請が必要だが、申請を無くして受診券を家に送れば受診率が上がるのではないか。

本市説明概要

- ① 健診の受診率が著しく低いということは把握しており、何かしらイベントがあるごとに周知ビラを配布したり、区民への啓発を行っている。
- ② 旭区では医師会と協力し、各医療機関に健診の周知ポスターを貼らせていただ

くなどの取組を行っている。

- ③ 要望については、福祉局に伝える。

(4) 生活保護について（項目番号5）

団体要望概要

- ① 旭区では、生活保護の相談に来た市民に対して、本人が申請の意思を示してないからと帰らせたことはあるか。
- ② ケースワーカーがタメ口や上から目線で接してきて、嫌な思いをしているという声をよく聞くが、受付面接の職員やケースワーカーはどのような研修を受けているのか。
- ③ 旭区のケースワーカーの人数を教えてください。
- ④ ケースワーカー1人当たりの平均担当件数が133世帯とあり、とても多い。ケースワーカーの増員をお願いしたい。

本市説明概要

- ① 相談に来た方には丁寧に時間をかけて事情を聞き、本人が申請しないという場合でも、心配な家庭についてはくらし相談窓口へ繋いでいる。
- ② 旭区の場合、受付面接の職員とケースワーカーは社会福祉主事の資格を持っており、ケースワーカーの中には精神保健福祉士の資格を持っている者もいる。生活支援課のすべての職員に対して、接遇に関する研修を年1回必ず行っている。
- ③ 大体1年に24人ぐらいで旭区の地域を持つという形になっている。
- ④ 今年度はケースワーカー1人あたりの担当件数が130～150世帯。増員については福祉局に要望しているが、難しいという状況。

(5) 保育、教育について（項目番号6）

団体要望概要

- ① 旭区の保育所の募集人数や、待機児童について教えてください。
- ② 募集人数に障がい児の枠はあるか。障がい児を受け入れている保育所は何か所あるか。

本市説明概要

- ① 募集人数が384人、申込人数が481人。保育所に入れなかった方もいるが、必要な方は入っていただいている。
- ② 障がい児枠は設けていない。障がいのある方については一人一人の状況があるので、保育士や保健師が別途面接し、保育所に相談したうえで進めている。保育士を増やす必要があったり、障がいの程度によっては危険があり受け入れが難しいと言われることはあるので、そういった場合は公立の生江保育所や大宮

第一保育所をお願いしている。

(6) 民間団体が実施する生活支援について（項目番号7）

団体要望概要

- ① 旭区役所とファミリーマート本部で合意書を交わし、区内 11 店舗のファミリーマートにフードドライブ回収ボックスが設置され、回収した食材をこども食堂で使っているということだが、この取組はいつからやっているのか。
- ② 生活に困窮した高齢者への食糧支援などはあるか。

本市説明概要

- ① 令和 5 年 8 月から実施している。
- ② 生活の困りごととはくらし相談窓口へ繋げて、そちらで食糧支援なども行っている。

(7) 災害対策について（項目番号8）

団体要望概要

- ① 旭区の避難所にある備蓄物資は何日分あるか。
- ② 旭区民センターに備蓄倉庫と書かれた看板があるが、それについて教えてほしい。
- ③ 能登地震があって市民の防災意識が高まっていると聞いたが、そう感じるか。

本市説明概要

- ① 基本は 3 日分。一部足りないものは危機管理室の備蓄倉庫から届く段取りになっている。
- ② 旭区民センターの備蓄倉庫は危機管理室の所管であり、大阪市の六つの備蓄倉庫のうちの一つ。発災したときにはそこから必要なものが各所へ発送されていくので、旭区だけのものではない。
- ③ 能登地震があったこともあるが、コロナ禍によって地域で訓練できないという状況が続いていたので、訓練を再開した地域が多く、機運が高まっていると感じる。